

多くの施設のご協力ありがとうございました!



● 北海道・東北地方

北海道大学病院、弘前大学医学部附属病院、国立病院機構盛岡医療センター、東北大学病院、宮城県立こども病院、山形大学医学部附属病院、福島県立医科大学附属病院

● 関東地方

獨協医科大学病院、群馬大学医学部附属病院、埼玉医科大学病院、千葉大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター、国立病院機構相模原病院

● 中部地方

岐阜大学医学部附属病院、国際医療福祉大学熱海病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡県立総合病院、浜松医療センター、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんだね病院、あいち小児保健医療総合センター、新潟大学医歯学総合病院、富山県立中央病院、富山大学附属病院、金沢大学附属病院、福井大学医学部附属病院、山梨大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、長野県立こども病院

● 関西地方

滋賀県立小児保健医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪赤十字病院、関西医科大学附属病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、兵庫県立こども病院、奈良県立医科大学附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、国立病院機構三重病院、三重大学医学部附属病院

● 中国・四国地方

鳥取大学医学部附属病院、南岡山医療センター、岡山大学病院、広島大学病院、山口大学医学部附属病院、徳島大学病院、香川大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院、高知大学医学部附属病院

● 九州・沖縄地方

国立病院機構福岡病院、佐賀大学医学部附属病院、熊本大学病院、大分大学医学部附属病院、宮崎大学医学部附属病院、鹿児島大学病院

● 今後の予定

国民へのアレルギー疾患に関する正しい情報の普及、啓発を行うため、調査結果をアレルギーポータル (<https://allergyportal.jp>) へ掲載します。

また、今後も定期的に調査を実施し、年齢の推移による、経時的なアレルギー疾患の有病率から、アレルギーマーチの実態を把握します。

引き続きみなさまのご協力をよろしくお願い致します。

<https://allergyportal.jp>

アレルギーポータル

検索



2021年度

アレルギー疾患に関する アンケート調査

調査結果



気管支喘息



アトピー性皮膚炎



食物アレルギー



アレルギー性鼻炎



アレルギー性結膜炎



花粉症



金属アレルギー



薬剤アレルギー

「アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究班」では、全年齢層におけるアレルギー有病率(有症率)と個々の合併率を明らかにし、現在の日本におけるアレルギー疾患の現状を把握することを目的に、アレルギー疾患医療拠点病院の職員とその家族を対象にWebアンケート調査を実施しました。小児から高齢者までの一貫した有病率調査はこれまで少なく、アレルギー疾患の発症予防、増悪予防、そして生活の質(QOL)の改善を考える上で貴重なデータを得ることができました。

● 調査の概要

参加施設 41都道府県58病院

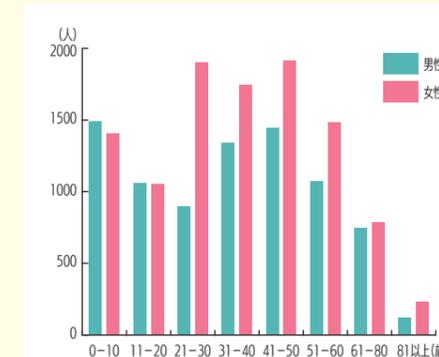
調査期間 2021年12月15日～2022年1月29日

調査方法 ウェブアンケート

調査内容 アレルギー有病率(有症率)

[気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、金属アレルギー、薬剤アレルギー]

● 対象者数

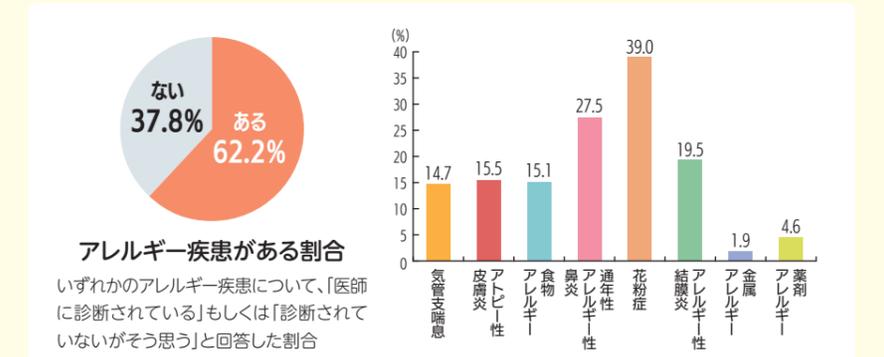


対象者 18706人

[男性] 8175人 [女性] 10531人

年齢 中央値: 36歳(0-102歳)

● 全体のアレルギー疾患有病率



アレルギー疾患がある割合

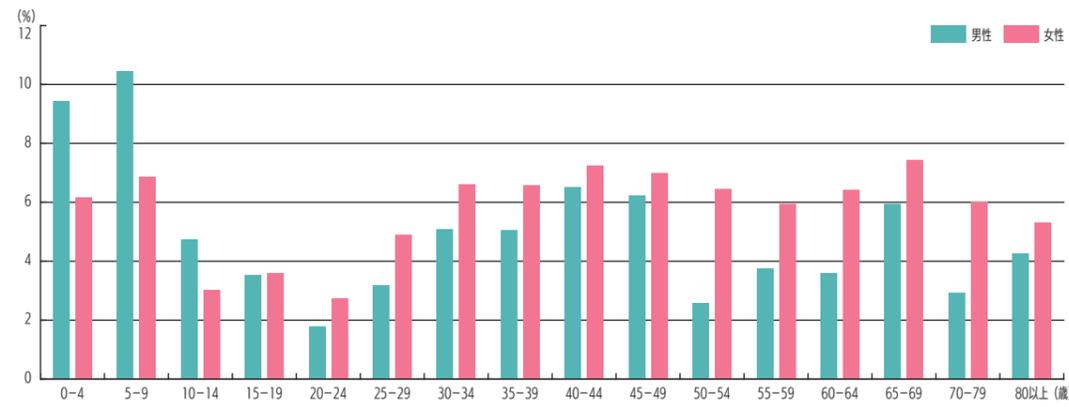
いずれかのアレルギー疾患について、「医師に診断されている」もしくは「診断されていないがそう思う」と回答した割合

全年齢を対象とした場合、62.2%の方が「いずれかのアレルギー疾患がある」と回答しました。最も多いアレルギーは「花粉症」でした。



気管支喘息

定義 1年以内に治療をしている、あるいは症状があると回答した方

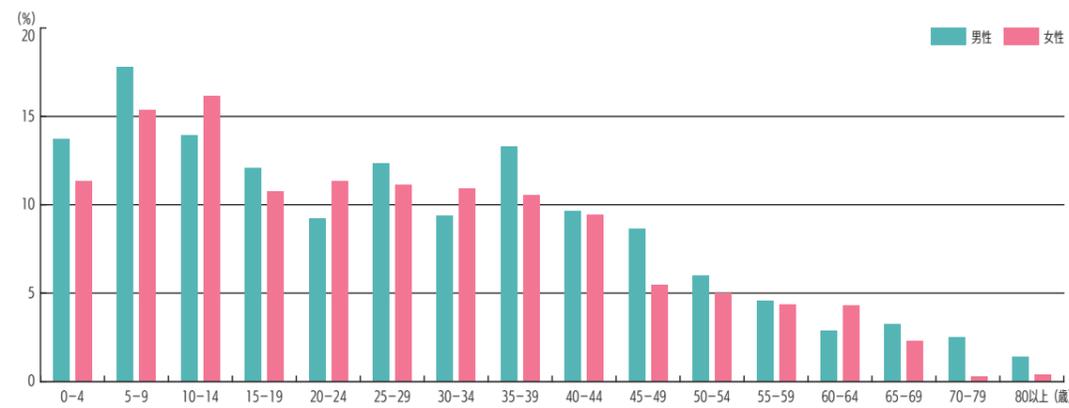


気管支喘息は乳幼児期が最も有病率が高く、男児に多い傾向でした。10-20代で一旦低下しますが、30歳以降再び増加に転じ、40代以降は女性に多い傾向を認めました。



アトピー性皮膚炎

定義 1年以内に治療をしている、あるいは症状があると回答した方

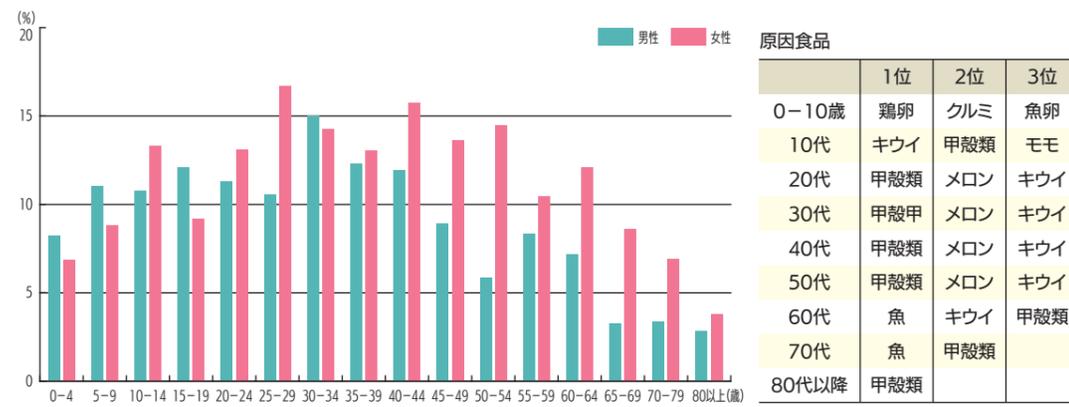


アトピー性皮膚炎は乳幼児期から10代に最も有病率が高くなり、40代頃から徐々に有病率が減少していました。乳幼児期にやや男児が多いですが、明らかな男女差は認められませんでした。



食物アレルギー

定義 食物アレルギーと診断されている、あるいは診断されていないがそう思うと回答した方



小児ばかりでなく、成人にも多くみられます。10歳未満ではクルミが2位となり、成人では甲殻類や果物によるアレルギーが多く認められました。



アレルギー性鼻炎

定義 1年以内に治療をしている、あるいは症状があると回答した方

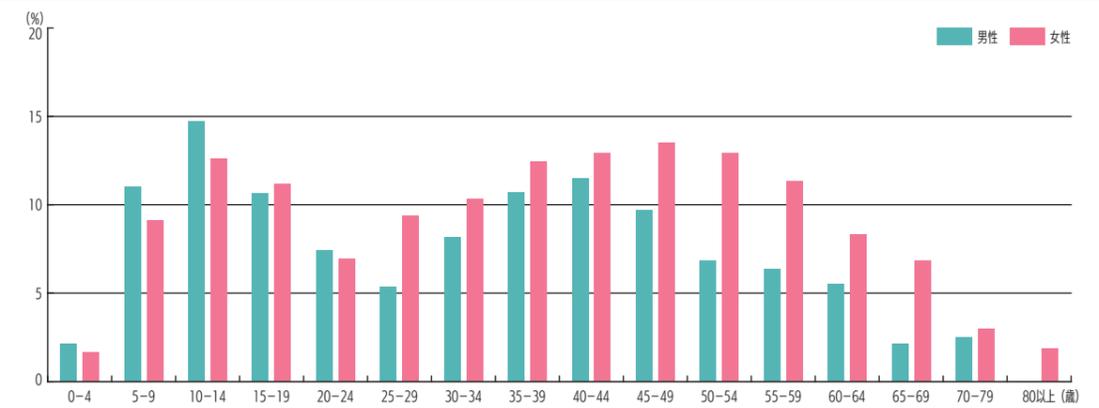


アレルギー性鼻炎は5歳頃から急に増加し、10代でピークを認めました。20代で一旦下がるものの、30代頃から再び増加していました。2-5月に症状を訴える人が多く、スギ花粉の関与が考えられます。



アレルギー性結膜炎

定義 1年以内に治療をしている、あるいは症状があると回答した方

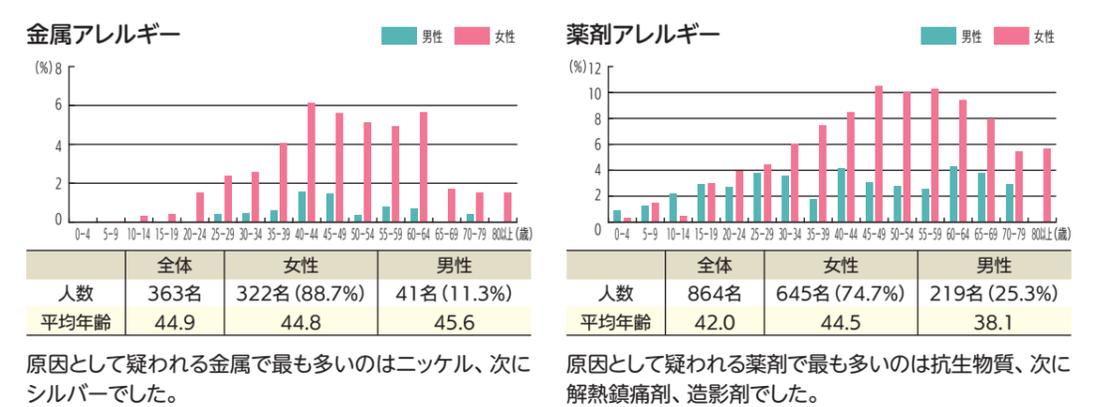


アレルギー性鼻炎と同じ年齢分布を示しました。特に40代以降については女性に多く認められました。



薬剤アレルギー 金属アレルギー

定義 「医師に診断されている」と回答した割合



他のアレルギー疾患とは異なり、40代にピークが認められました。男性よりも女性に多い傾向がありました。